



Photo:Ogawa Tadahiro

フォーラム 火焰街道往来 2010

● 2月27日(土) 13:30~17:00 長岡商工会議所大ホール

第1部 世界の中の火炎土器

記念講演1 「火炎土器の個性」……………小林 達雄

記念講演2 「ヨーロッパからみた火炎土器」……………サイモン・ケーナー

第2部 火炎土器文化の周辺

基調講演 「火炎土器文様にみる地域関係」……………今福 利恵

● 2月28日(日) 10:00~15:30 新潟県立歴史博物館講堂

話題提供/東北南部(中野 幸大)・関東北部(長谷川 福次)・中部(綿田 弘美)・

北陸(山本 正敏)・新潟(佐藤雅一・小熊 博史)

討論/司会:寺崎 裕助・宮尾 亨

入場無料

定員150名

(事前申し込み)

※詳細は裏面参照

主催/信濃川火焰街道連携協議会(長岡市・十日町市・新潟市・津南町) 共催/新潟県立歴史博物館

後援/火焰街道博学連携推進研究会・火焰街道博学連携プロジェクト・NPO法人ジョーモネスクジャパン・新潟県考古学会

フォーラム 火焰街道往来2010

縄文文化を象徴する火炎土器は、約5,000年前に信濃川流域を中心に生み出されました。本フォーラムは、火炎土器や縄文を広い視点で取り上げた講演会(第1部)とシンポジウム(第2部)で構成します。

第1部は、ヨーロッパにおける縄文文化や火炎土器の評価や位置づけ、新石器時代との比較などについて講演いただきます。一方、第2部では、火炎土器の情報ネットワークの講演を基調として、県内及び周辺各地における火炎土器様式に併行する遺跡や遺物の様相を中心に、最新の研究成果をわかりやすく紹介します。

信濃川火焰街道連携協議会とは

火焰型土器に代表される「縄文」をキーワードに、信濃川流域の市町村が交流・連携をはかり、地域振興や広域観光の推進を目的に発足しました。現在は長岡市・十日町市・新潟市・津南町によって構成。「縄文」に関連した各種イベントや既存の展示施設などを有効活用しながら、地域交流の促進や情報発信に取り組んでいます。

- 協議会ホームページ <http://www.kaen-kaido.com>
- 事務局:長岡市企画部企画課(大手通西分室 ☎39-2204)

～講演者紹介～

小林 達雄

KOBAYASHI Tatsuo



長岡市出身。國學院大學名誉教授。信濃川火焰街道連携協議会顧問のほか、新潟県立歴史博物館名誉館長、津南町なじょもん名誉館長、長岡市馬高縄文館名誉館長等を務める。

サイモン・ケーナー

Simon Kaner



英国ミドルセックス郡出身。セインズベリー日本藝術研究所副所長。日本考古学に造詣が深く、國學院大學客員教授も務める。昨年大英博物館で行われた土偶展のプロデュースでも活躍。

今福 利恵

IMAFUKU Rikei

山梨県出身。山梨県教育庁学術文化財課主査文化財主事。火炎土器様式や勝坂式土器様式の土器文様から遺跡間関係や社会組織について鋭い論考を発表。

会場のご案内



長岡商工会議所へは

- JR長岡駅大手口から徒歩8分(大手通2丁目交差点を右折 大和デパート様隣り)
- 関越自動車道・北陸自動車道長岡I.C.から車で約15分
- 駐車場はございません。お車でお越しの際は周辺の有料駐車場をご利用ください。公共交通機関のご利用をお勧めします。

新潟県歴史博物館へは

- JR長岡駅大手口5番線長岡＝柏崎線バスで関原下車、徒歩15分
- 関越自動車道・北陸自動車道長岡I.C.から車で約5分
- 会場および周辺には飲食店はございません。昼食はあらかじめご用意ください。

お申し込み

フォーラム火焰街道往来2010に参加希望の皆様は下記の申込用紙を使用して、長岡市立科学博物館(FAX 0258-36-7691)までFAXでお申し込みください。

ハガキの場合は長岡市立科学博物館(〒940-0072 新潟県長岡市柳原町2番地1)に、住所・氏名・電話番号とフォーラムおよび情報交換会の参加有無を添えてお申し込みください。

※情報交換会(会場=駅周辺 時間=18:00～20:00予定)の詳細についてはフォーラム当日にお知らせいたします。

お申し込み期間 2月10日(水)から24日(水)まで。(先着順)

●お問合せ先 長岡市立科学博物館 TEL 0258-32-0546

FAX申込み用紙

2月27日(土)

- 記念講演……………参加・不参加
- 情報交換会(会費4,000円)……………参加・不参加

2月28日(日)

- 話題提供・討論……………参加・不参加

ご氏名	ご住所(〒 -)	TEL
-----	-----------	-----